

令和3年度避難者アンケート調査の結果について【概要】

1 調査目的・対象等

- (1) 調査目的：避難生活の長期化に伴う課題やニーズ等を把握し、今後の避難者支援策に資する
- (2) 調査対象：東日本大震災により山形県内に避難されている 511 世帯
- (3) 調査期間：令和3年6月下旬～7月中旬 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (4) 回答数：134 世帯（回収率：26.2%）

2 調査結果のポイント

(1) 世帯の状況について

- ・「子供がいる世帯」は 50.7%、「母子のみ避難」は 14.9%、「高齢者がいる世帯」は 30.6% となっている。

(2) 山形での生活について

- ・困っていること・不安なことは、「生活資金のこと」が 49.3%で最多、「身体の健康」が 44.0%、「心の健康」が 31.3%の順。
- ・新型コロナによる影響は、「移動自粛により避難元にいる家族との時間が減った」が 46.3%で最多、「イベント等の中止により地域との関わりが減った」が 19.4%、「勤務先の状況による収入の減少」が 15.7%の順。

(3) 今後の生活について

- ・「もうしばらく山形県で生活したい」が 38.1% 「山形県に定住したい」が 37.3%で、7割を超える方が山形県に留まりたい意向。
- ・山形県に留まりたい理由は、「持ち家の取得」が 40.6%で最多、「山形県での生活に慣れたため」が 38.6%、「子どもの就学」が 36.6%の順。
- ・避難期間の見通しとしては、「子供が独立するまで」が 21.9%で最多。

(4) 心身の健康について

- ・約6割の方が心身に何らかの不調を抱えている。「疲れやすく体がだるい」が 31.3%、「よく眠れない」が 19.4%、「以前楽しめたことが楽しめない」と「イライラする」が同率で 16.4%の順。「特にない」32.8%との回答も多い。

(5) 教育や子育てについて

- ・困っていること・不安なことは、「子供の進学や進路が心配」が 55.9%で最多。
- ・子どもがいる世帯の方が望むことは、「進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」が 35.3%、「子育てに役立つ情報がほしい」が 16.2%と続く。「特にない」38.2%との回答も多い。

(6) 高齢者の生活について

- ・困っていること・不安なことは、「健康に関すること」が 36.6%で最多。
- ・高齢者がいる世帯の方が望むことは、「生活に役立つ情報がほしい」が 17.1%、「交流に関する情報がほしい」が 14.6%と続く。「特にない」24.4%との回答も多い。

(7) 県内避難者支援事業について

- ・県、市町村、ボランティア団体等による避難者支援は、約7割が評価。
- ・今後、県内で期待する支援は、「生活情報の提供の充実」が 23.9%で最多。